



E-mail: honbu@otedama.jp

●お問い合わせなどメールをご利用ください



http://www.otedama.jp

●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号



TEL : 0897-32-0302



FAX : 0897-32-0311

強度を高めた多角形「お手玉」を实用新案登録 宮崎お手玉の会の佐藤幸子さんと和田喜久子さん

宮崎市の佐藤幸子さんと和田喜久子さんが考案した、キラキラ光る水玉付の布で作った多角形のお手玉と、ちりめん布地に麻の葉模様の「幸ちゃんしぼりお手玉」が实用新案登録されました。佐藤さんと和田さんが考案したお手玉は、美しい上に強度を高めた多角形になっています。

2人は、「2020年の東京オリンピックまでに宮崎のお土産用にと、青、赤、黒、黄、緑の五輪色の5個セットを製品化したい」と、大きな夢を描いています。

佐藤さんは、日本のお手玉の会のお手玉六段の認定を受けています。新しいお手玉については、次のように言っています。

「従来の俵型お手玉は、遊んでいるうちに絞った口がほどけて、中身が出てしまうことが気になっていました。

そこで、絞り口を縫う際に、長い針目と短い針目を交互に繰り返す『幸っちゃんしぼり』を、約10年前に考案しました。

お手玉の大きさによって6角形や、8角形、12角形といろいろ作れます。これまでに2万個以上作りましたが、ほどけたことはありません」

キラキラ光っているのはポリエステルで、和田さんの考案です。和田さんは、「人気歌手のスパンコールの衣装が、ステージに映えるのにヒントを得た」と言っています。

東京オリンピックが決まったのを機会に、2人は「海外からたくさんの方が来る。日本人が昔から親しんできたお手玉を、宮崎発のお土産として売って、おもてなしができれば楽しいね」と盛り上がったということです。

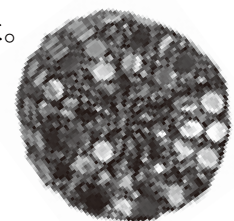
商品化する上で、せっかくだから付加価値を高めようと準備をすすめ、昨年8月「玩具用お手玉」として出願し、半年後の今年4月に登録が認められました。

佐藤さんは、「戦死した父や看取った叔母とのお手玉の思い出を、一つの形にできた」と言っています。

和田さんは「子どもたちに『お母さんだってまだまだ頑張っているんだぞ』という姿を見せることができれば」と言っています。

*このニュースは、『宮崎日日新聞』の記事を参考にさせていただきました。

驚きと感動
お手玉が
实用新案登録
されました。



絞り口を縫う際に、
長い針目と短い針目を交互に
繰り返す
「幸っちゃんしぼり」を
応用したお手玉です。